

# 「困ったなあ」

## 「答えます」

佐々木知子の  
法律相談



佐々木知子  
ささき ともこ  
弁護士  
帝京大学法学部教授

### 娘夫婦の仲が心配です。 離婚するのではないかと…

60歳の女性。私のことではなく、実は娘のご相談で上がりました。娘は35歳、結婚をして子供が2人います。長男(小学5年)と長女(3年)で、2人とも行儀が良く、学校の成績も良く、自慢の孫たちです。娘は地元の短大を卒業後、農協に勤めていた時に、勧めてくださいる方があって、地元の名家の次男さんと結婚しました。娘23歳。相手は27歳。東京の有名大学を卒業して一流企業に勤める真面目な方でした。同じ地元なので帰省は必ずしてくれるし、退職後はこちらに戻ってくるとも言ってくれました。仕事が忙

しい以外はそれほど不満もなく、一家仲良く暮らしているはずでした。ところが、娘が先日戻ってきたところでは、このところ夫の様子がおかしい、帰宅は毎夜遅いし、休日度々、何やかやと口実を設けては出て行く。携帯メールを調べたら、若い女がいることが分かった。問い詰めると、たしかに可愛がっている女子社員がいるが、まだ22歳で将来があるので、肉関係はないと言って聞き直り、謝りもしないのだそうです。よくある職場恋愛



### 長い人生を一緒に歩む夫婦です。あまり干渉せず、 当人同士で夫婦の関係を見直すことが大切です

離婚の相談ですね。ただし、ご本人からではなく、親御さんからの相談(笑)。とくに地方では、親御さんからの相談がよくあります。まだまだ親御さんも若いし、子供の数が少ないので、結婚後も密接な関係が続くからでしょう。

にひつ迫するし、何より子供から父親を取り上げるのは残酷だからです。さて、この際ちょっと気になるのであえて言うのですが、娘さん夫婦の問題に、お母さんもご主人も決して自ら出て行かないでください。よくあるのですが、娘から聞いて親が怒り、直接婚を詰問したり、挙げ句はその親の所にまで行って文句を言うケース。こうなると当人同士の問題は、家同士の喧嘩になって、あとは離婚しかなくなります。ほ

す。もともと男性には帰巢本能が備わっているのに、対応がまづくてそうなるのは子供たちに申し訳が立ちません。ということで、せっかく法律相談に来られたのに、離婚の手続きや問題点などには入らずに人生相談で終わってしまいました。弁護士との相談にはよくあることなので、気になさらないでください。これをきっかけに母様も子離れをして、娘さんを温かく見守る立場になると良いですね。

最近、日本でも離婚率が3分の1を超え、よくある話になりましたが、できればやめておくべきです。ことに未成年の子供がいる場合はそうです。離婚カッブルの6割に未成年の子供がいて、たいていは母親が親権をとるので、サラリーマンが毎月払える養育費は知れているため経済的

夫婦は共に長い人生を歩んでいく協力者です。晴れの日も雨の日もある。失業があるかもしれないし、浮気もあるかもしれません。大事なはその時の対応です。娘さんがそのまま冷たい態度をとり続けると、お母さんは家に帰りづらくなって、そのうち家庭は破綻してしまいま

それはにしても携帯電話の普及には弊害が多くて、困ったものです。浮気がばれるきっかけの多くは携帯メール。勝手に見られた相手は気を悪くするし、良いことはいらないのですけれど、これも時代の趨勢で仕方ないのでしょうか。

# A